

令和7年12月教育委員会定例会会議録

1 期 日 令和7年12月19日（金）開会 午後3時00分
閉会 午後3時40分

2 場 所 旭市役所3階政策決定室

3 出席委員

向後 依明（教育長）
鈴木 典男（教育長職務代理者）
富山 理
田村 俊雄

4 出席職員

教育総務課長	飯島 正寛
学校教育指導室長	遠藤 忠義
生涯学習課長	江波戸 政和
スポーツ振興課長	林 甲明
教育総務課副課長	松井 恒久
教育総務課副課長 （学校再編室長兼務）	八馬 裕樹
生涯学習課副課長	島田 昌志
スポーツ振興課副課長	安藤 克浩
教育総務課総務班副主幹	加瀬 悦子

5 教育長開会宣言

6 教育長挨拶

- ・1年の締め括りとなる時季を迎え、何かと慌ただしい日々が続いておりますが、本日は定例会にご出席いただき、誠にありがとうございます。
- ・さて、巳年である2025年は、再生や成長を象徴する年とされておりますが、これまで委員の皆様には、しなやかに粘り強く、本市の教育充実・発展のため多大なるお力添えをいただき心より感謝申し上げます。
- ・本年を振り返りますと、訪問などをおして子供たちが意欲的に学ぶ姿から多くの励ましを受ける一方で、深刻な教員不足という課題にも直面した1年でもありました。しかし、厳しい状況の中にあっても、現場の教職員が互いに支え合い、力強く教育活動を継続してくださっていることに、あらためて感謝と敬意を表し

たいと思います。

- ・そして来る2026年・午年は、物事が勢いよく前進し、実りへとつながる年とも言われております。未来を担う子供たちをはじめ、市民すべてのウェルビーイングのために、本日の協議が次年度の更なる発展への弾みとなることを心から期待しております。本日も、忌憚のないご意見を賜りますようお願いいたします。

7 会議録署名委員の指名 富山委員 田村委員

8 教育委員会報告

- ・資料により委員会報告及び行事予定を説明する。

9 議案

議案第23号 旭市学校再編代表者会議委員の委嘱について

【教育長】

- ・議案第23号を議題とする。
- ・議案第23号は、人事案件であるため、旭市教育委員会会議規則第8条第1項第1号の規定により、非公開とすることについて諮る。
- ・全会一致で非公開と決定し、職員の退席は求めない。

〈これより非公開〉

【教育長】

- ・議案第23号の説明を求める。

【教育総務課長】

- ・議案第23号について、説明をする。

議案第23号 旭市学校再編代表者会議委員の委嘱について

- ・報告第2号については、全会一致で了承する。

10 その他

【教育総務課長】

- ・令和7年旭市議会第4回定例会一般質問内容（教育委員会関係）を配付する。
- ・教育関係受賞者記念品贈呈について（報告）を配付する。

- ・卒業式・入学式に向けたスケジュール等を配付する。
- ・令和7年度第2回教育長・教育委員研修会について通知を配付する。
- ・第1回総合教育会議会議録を配付する。
- ・学校教育指導室だより「かけはし」を配付する。
- ・給食だよりを配付する。
- ・学校再編だよりを配付する。

【学校教育指導室長】

- ・教育活動の現況について報告する。

【学校再編室長】

- ・学校再編の進捗状況について報告する。

【生涯学習課長】

- ・令和8年旭市二十歳のつどいについて説明する。

《質疑等》

【委員】

- ・11月29日の旭市休日部活動地域移行（展開）保護者説明会が、あまり意見も出ずに終わったということですが、反対・賛成の意見もなかったのでしょうか。

【生涯学習課長】

- ・賛成・反対については、特にご意見やご質問はありませんでした。
- ・質問については、例えば陸上競技部の場合で、こういう場合はどうするのか等の具体的な内容はありましたが、部活動地域移行（展開）の計画全体についてのことについては、特にありませんでした。

【委員】

- ・私の周りで保護者から聞かれることは、地域移行することで、毎月負担額がいくらからいになるのかということです。今、他県でも他市でも国の負担を要望する話を聞きますが、その辺の内容は少しでもプレゼンしたのでしょうか。

【生涯学習課長】

- ・お金の話ですが、具体的にこの位ということはお示しできていない状況ですが、国からも3,000円位の会費で進められるようにということは話が出ました。
- ・また、決定したわけではありませんが、補助割合につきましては、国1/3、県1/3という方向で進めるというようなお話できております。

- ・生徒さんの参加費については、現段階で具体的な数字は決められないのですが、月額3,000円以下を目指して調整できればと考えております。
- ・また、近隣市町村とのバランスも考えながら進めて参りたいと考えています。

【委員】

- ・議会の一般質問について、小学校跡地を活用する計画があるのかという質問がありますが、海上中学校の跡地がそのままですが、今後の見通しはあるのでしょうか。

【教育総務課長】

- ・今後の跡地利用については、地域の準備委員会で話し合うことになっており、その意見を踏まえまして、庁内の地域調整会議等に諮って参ります。
- ・教育財産の処分になりますので、管轄は行政改革推進課に移行していくことと思われまます。
- ・海上中学校の跡地につきましては、小学校統合地としての活用案がなくなりましたので、行政改革推進課の方でサウンディング等に諮りながら検討を進めていくこととなります。

【委員】

- ・海上中学校の跡地については、そういう方向性が出てきたということですね。あれだけ広い土地ですから、活用が求められているのではないかと思います。
- ・学校再編だより（第二中学校）についてですが、学校再編基本方針の内容に対する委員の意見の中に、「生徒数のバランスが悪いので学区の見直しが必要」とありますが、具体的にどういうことですか。

【学校再編室長】

- ・こちらの意見ですが、（仮称）北統合中学校として統合した場合の5年後、10年後の推計人数を資料としてお示ししたのですが、それについて、市内で小中学校の適正配置を考えると、（仮称）北統合中学校は生徒数が少なく、バランスが崩れているのではないかとのご意見をいただいたところです。

【委員】

- ・第二中学校、干潟中学校のそれぞれの会議で、片や反対多数、片や賛成多数、これから審議を進めていくことになると思いますが、将来推計はあくまで推計ですから、それを固定で実現していくのではなく、変化を受け取っていくことが求められてくるのではないかと思います。

【委員】

- ・学校再編ですが、（仮称）北統合中学校の建設についての検討をしているところですが、最終的に旭市は西と東の2つあれば十分な形に落ち着くのではないかという意見も多数あります。新築校の位置については、今後の見通しでこれくらいの人数になるからこの位置を考えているのだということを、検討の段階で言えた方がいいのではないかと思います。
- ・このままだと、3つの中学校に統合していくというように取れるので、2つになる可能性もあるということは、十分皆さんに説明していく方がいいのではないかと思います。

【学校再編室長】

- ・将来的な生徒数の推移や親御さんからのアンケートを踏まえて資料提供しながら、さらに代表者会議の中でご意見をいただきながら、学校再編を進めていきたいと思えます。委員からのご意見につきましても、参考にさせていただきます。

【委員】

- ・学校再編について、「反対多数」の理由は、強いて言えば何が多いのでしょうか。

【学校再編室長】

- ・琴田・共和小学校の第二中学校学区の方では、生徒数が乏しくなること、金額が大きいので費用対効果を考えると反対という意見が多くありました。

【委員】

- ・金額が大きいという意見について、既存の校舎を使うべきだという意見ですか。

【学校再編室長】

- ・計画では土地を購入して校舎を新築すること、その事業費は60～70億円となることを資料提供したところ、その多額の事業費を費やしても将来的な生徒数が少なくなることについて、費用対効果を考えるともったいないのではないかというご意見でした。

【教育長】

- ・次回の教育委員会定例会は、1月27日(火)午後3時に開会することに決定する。

1 1 教育長閉会宣言